

以前にジュニアサポーターだった鈴木さんが親子共々久々に参加されました。コロナ禍でジュニアサポーター制度を休止して以来、3年ぶりです。

娘と理科クラブに参加させていただき活動を通して最も感動したのが、全ての工作物に対して丁寧な設計図面を作っていたことと、身近にあるものを使いものづくりを行っていることでした。機械はもちろん、建築土木、電気に至るまですべての基本は図面であり、こういったプロフェッショナルのひく図面を、理科クラブに参加した子どもたちが見てモノづくりを行い、そして身近にある物の見る方向を変えることにより、新しいモノを作り出せる力を、活動を通してはぐくむお手伝いをさせていただいていることに私個人大変なやりがいを感じました。

創立 10 周年を迎えることができたことに無上な喜びを感じると同時に、子ども達と大人にさらに幅広い科学の「共育」の場となることを願っています。

鈴木康仁



私は、理科クラブに小学校低学年から行っていました。ここでは普段学校で習っている理科の内容では分からない深い所を「作る」を通して教えてくださいました。小学校を卒業して中学校に入ると、ジュニアサポーターとして次は「教える」という立場になり、教える事の大変さもしっかり伝えられたかという不安な気持ちがあり、試行錯誤です。これからも、新しく理科クラブに入る子達に理科の楽しさを伝えられたら良いなと思います。



鈴木 結衣

指導員 頑張ってます



牛頭さん



鶴橋さん



蠅田さん

